

01 北海道の公共施設の整備水準

北海道の公共施設の整備状況

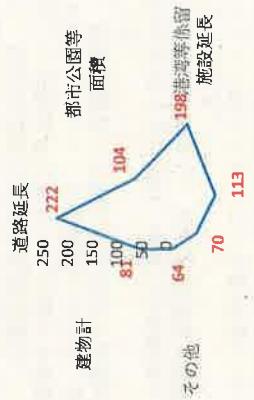
道路延長 km	市道公園等 面積 km ²	施設延長 km	施設面積 km ²	施設状況		公営住宅 戸数	その他 施設	施設計 戸数
				高等學校	中等学校			
11,539	9,892	1,75	2,64	1,914	1,446	0.36	0.27	5,824
人口1人当たり	2.14	1.84	0.03	0.46	0.36			1.08

百年記念施設のあり方に關する意見

20180713

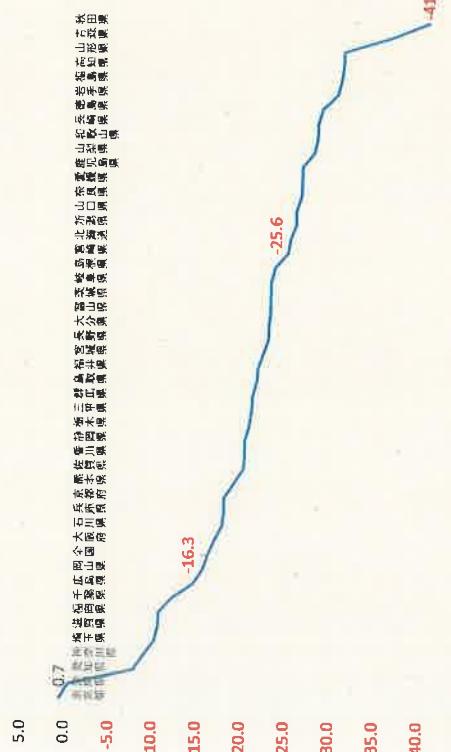
北海道大学公共政策大学院 石井言春

人日当たりの整備水準の全国平均との比較



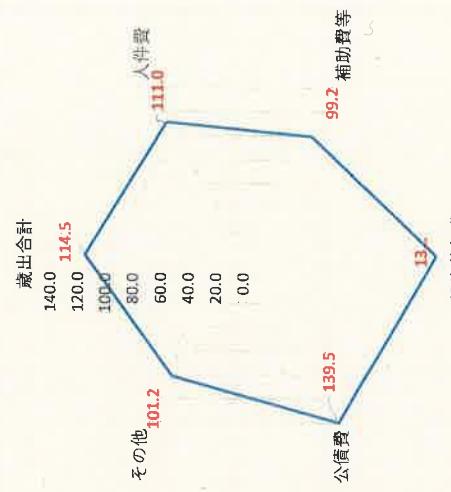
(資料) 総務省「公共交通機関運賃調査」(平成7年)による

02都道府県別人口の将来推計



(資料) 社會保障：□問題研究所「地獄別道率」口推計(2018年) | 来源：上仁作成

03北海道の人口1人当たり歳出水準（全国平均=100）



拾遺錄

(資料) 総務省「2016年度都道府県決算状況調査」をもとに作成

04 意見

(北海道保有の公共施設)

○北海道が保有する公共施設は、1970～1980年代に整備のピークをもつているとともに、2035年には、道路橋梁の51%、漁港の97%、庁舎の49%、学校の42%が建設後50年を経過する見込みであり、本格的な維持・更新時代を迎える。

○こうしたなかで、維持・更新に軸足を移すことなどを目的で、インフラ長寿命化計画を策定し、対応を行っている。

○北海道の公共施設の整備水準は、道路、都市公園等において、全国平均を相当程度上回っており、財政支出面でもその負担は重い。

○今後については、厳しい自然条件に加え、人口減少や財政制約の強まりなどによって、現有量を維持していくことも困難とみられ、長寿命化などによる適切な管理に加え、総量削減などに取り組んでいく必要がある。

(百年記念施設のあり方)

○上記に加え、成熟社会を迎えるなかで、命名150年事業は、施設に依拠しない形で進んでいくこととなる。百年記念施設の取扱いにもこうした考え方を引き継ぐべきと考える。

○安全性の問題から立ち入り禁止となっている記念塔については、耐久性といふ面で十分な検討が行われざるとみなさざるを得ず、将来世代の負担で維持・更新すべきものにはならないと考える。